



令和5年度 設楽中学校グランドデザイン



校 訓

己に克つ 自ら学ぶ
自ら鍛える
自ら律する

教育目標

- ア 自他の生命を尊重し、愛と正義を貫く
イ 自ら学び、自ら心や体を鍛え、たくましく生きる
ウ 勤労を尊び、奉仕と思いやりの心をもって社会に貢献する
エ 郷土に誇りをもちつつ、世界に目を向け広い視野で物事を考える

経 営 方 針

- 「共に学ぶ楽しさ」「活動をつくる喜び」を共感し合う学校
・生徒とともに有意義な教育活動をつくる楽しさと期待感のあふれる企画に挑む。
- 「社会で役に立つ力」を伸長し、一人一人が活躍する魅力ある学校
・個々の考えを堂々と発言できる人間関係、互いに高め合う強い意志をもった仲間づくりを推進する。
- 保護者、地域とともに生徒の成長を喜び合う信頼される学校
・地域に学び、地域を愛する心で教材開発に臨み、チームで対応する教職員集団を目指す。



生徒による自治を促進するために継承している理念

生 徒 憲 章

平成13年7月

真の自由の意味を己の心に問え

- 親しさと厳しさが生む信頼
- マイベストで感じる満足感・一体感
- 学年としての立場と責任の自覚
 - 1年生 先輩から学び、自分も成長する。
 - 2年生 先輩を支え、後輩に伝える。
 - 3年生 最上級生として、自ら動く。



設 楽 中 人 権 宣 言

平成27年11月

私たちは、相手のことを知り、常に思いやりの精神で行動します。
私たちは、常に人権問題に関心をもち、人権感覚を磨きます。
私たちは、常に人権問題を正しく理解するよう努めます。
私たちは、どんな人の体も心も傷つけない生き方をします。

生活の三原則

場を清める
時を守る
礼を正す

三つの心得

人より先にあいさつを
はきものをそろえよう
「はい」という元気な返事

重 点 努 力 目 標

<自ら学ぶ>

学びⅠ 学びの基盤となる集団づくり

- どの教科でも「協同学習」ができる学級づくり
- 評価のポイントが分かる教科オリエンテーション
- 集団の授業規律と個別の支援の在り方の定期点検

学びⅡ 生徒の意識を大切にしたい達成感のある授業

- 研究3要素「課題設定」「個人思考」「話し合い」重視
 - ・生徒と共につくる「単元マップ」と「学習課題」
 - ・粘り強く自己調整を続けるための「今日の収穫」
 - ・「方向性」と「着眼点」による深まりのある話し合い

学びⅢ 自学による学習強化とICT活用環境整備

- 自学ノートを活用した家庭学習の充実
- タブレット端末活用に向けた環境整備
- 検定ガイダンスによる受検の勧め〔漢字、数学、英語、理科〕

<自ら鍛える>

鍛えⅠ 豊かでたくましい心と体を育む

- 朝活：読書タイムによる読解力と感性の伸長
- 夕活：体力づくりによる基礎体力の向上
- 理論に基づく練習方法、健康管理を学び、実践する

鍛えⅡ 表現力・コミュニケーション力の伸長

- 自身の存在感を表出し、仲間とつくる合唱
- 話す側、聞く側が相乗するスピーチ・意見交換
- 面接、社会生活に生きる日常からの礼儀作法

鍛えⅢ キャリア教育の充実

- 進路カルテを含むキャリアパスポートの蓄積
- 中高一貫連携校田口高校から学び、地域に貢献する人材育成
- 地域の外部講師との直接交渉、対話の経験（名人に学ぶ、職場見学、設楽町人材育成研修）

<自ら律する>

律すⅠ 「生徒憲章」を核にした規範意識の高揚

- 生徒憲章を解釈し、温かく高め合う仲間
- 各学年の目標設定、報告、自己評価、相互評価を生かす
- 上級生を敬い、他から学び、下級生や仲間を気遣う心

律すⅡ 「生活の三原則」「三つの心得」「設楽中人権宣言」

- 上記の理念を定期的に想起して、社会技能を伸ばす
- 自分を守り、他を傷つけない情報モラルの習得
- スクールガード、スクールバス関係者、給食調理員への心遣いを表出

律すⅢ 生徒の悩みに寄り添い、困難を乗り越える力を伸ばす

- 一次支援（指導）を充実させ、生徒とのつながりを重視
- 生活記録、生活向上アンケート、教育相談を生かした対話
- 登下校の見守りの時間等を生かした日常会話からの情報収集

令和5年度生徒数

学年	男	女	合計
1年	10	16	26
2年	9	16	25
3年	9	11	20
合計	28	43	71

<「働き方改革」プロジェクト>

- ① 在校時間の自己管理とライフスタイルに合った勤務の在り方を追究する
- ② 学年部会の協力体制を強化し、効率的な研修の在り方を追究する
- ③ 複数顧問制度を生かした部活動指導時間帯の有効活用の在り方を追究する
- ④ 生徒の健全育成と職員の健康管理に着目した業務のスリム化を追究する

